

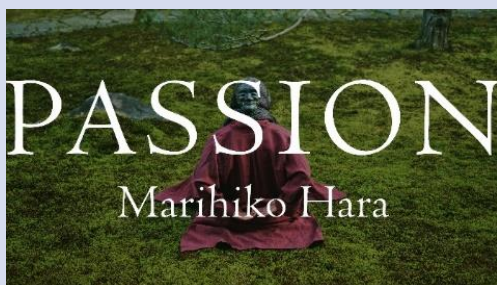
アーティストとしての楽曲リリースや舞台や映像作品への音楽提供など

ジャンルを越えての活躍が目覚ましい原摩利彦。

森山未来が出演した東京オリンピック2020開会式での鎮魂の舞でも制作を共にした二人は

エラ・ホチルドと共に本作品においてもオリジナルサウンドスケープを制作する。

Soundscape/References



©2022「流浪の月」製作委員会



NODA・MAP 第24回公演

「フェイスピア」

作・演出：野田秀樹

左は森山未来がMVにも出演した原のオリジナルアルバム「PASSION」(2020年)。

中央は映画音楽を担当した李相日監督の「流浪の月」(2022年)。

右は舞台音楽を担当したNODA・MAP第24回公演「フェイスピア」(2021年)。

Sound/Image

沈黙からひとつの音が生まれ、少しずつ増えて群れとなる様子。
孤独で小さな部屋から広大な海へとつながっていくような音の流れ。

そこではどんな旋律が聞こえてくれるのか。

今まさに試行錯誤しています。

原 摩利彦